

## 平成29年第3回定例会一般質問

日 時 9月5日(火)、6日(水)、7日(木)、8日(金)  
 いずれも午前10時から  
 ※質問、答弁を含んで概ね1人60分

内 容 発言通告書(一般質問)のとおり

発言順	議員名	質問日(予定)
1	鈴木 成 夫	平成29年9月5日(火)
2	小林 正 樹	
3	沖 浦 あつし	
4	岸 田 正 義	
5	渡 辺 大 三	
6	村 山 ひでき	
7	白 井 亨	平成29年9月6日(水)
8	宮 下 誠	
9	渡 辺 ふき子	
10	た ゆ 久 貴	
11	遠 藤 百合子	
12	水 上 洋 志	
13	板 倉 真 也	平成29年9月7日(木)
14	河 野 律 子	
15	坂 井 えつ子	
16	篠 原 ひろし	
17	紀 由紀子	
18	斎 藤 康 夫	
19	片 山 薫	平成29年9月8日(金)
20	湯 沢 綾 子	
21	森 戸 洋 子	
22	吹 春 やすたか	
23	田 頭 祐 子	

# 一般質問の通告について

発言順

1

平成29年 8月24日  
(西暦2017年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 鈴木 成夫

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 来年の市制施行60周年に向けたシティープロモーション事業を展開しないか	
・10年に一度の機会を逃さず、市の好感度アップを図るための検討を始めないか	
・シティープロモーション推進のための専門部署を創設できないか	
2. 小金井市の子ども発達支援事業の現状について	
・児童発達支援センターきらりの事業評価について	
・新たなニーズ集約と対応の現状はどうか	
・理解と啓発を図るための取組はどのように行われているのか	
3. 消防団員の確保について、市内大学等との連携の検討を始めないか	

平成29年 8月24日  
(西暦2017)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 川、林 正樹

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p><b>1. 武蔵小金井駅北口エリアの居場所づくりについて</b></p> <p>西友小金井店が7月31日、開業52年の幕を閉じた。夜になると駅のホームからは銀行ATMの光がぼんやり見えるだけで、市の玄関口の一つとして、次の展開が市民の中で心配されている。 また、武蔵小金井駅北口には、安心して過ごせる施設(交番・トイレ・子育て世代の広場や、休日や学校帰りに自習などを行う若者の集う居場所)が少なく、更に通行人が減少する事を心配する声が多い。</p> <p>ア) 武蔵小金井駅北口の再開発の検討状況は イ) 本年7月に閉店した商業ビルの今後の計画は ウ) 商業ビル専用の駐輪場はいつまで使えるのか エ) 商業ビルの今後の計画が決まるまでの間だけでも、市で有効活用をお願いできないか</p> <p><b>2. 市内商店の回遊策について</b></p> <p>大規模商業施設が誕生し、また無くなっていく中で、 小金井の個店が、元気で回遊性の有る商店会である事は、市民にとってもメリットは大きい。 現在ある「さくらポイントカード」を活かし発展させる事が急務である。</p> <p>ア) 「さくらポイントカード」の果たしてきた役割と今後の展開について見解は イ) 有効な回遊策として力を発揮できるよう、利用実績を分析しないか ウ) 高齢者の所在確認や、健康ポイント制度など機能強化をはからないか エ) 加入者を増やす取り組みに対して、インセンティブ補助金を設定しないか オ) 将来的には、スマホなどを利用したポイント管理を目指し利用の幅を広げるべきではないか</p> <p><b>3. 学童保育の大規模化への対応について</b></p> <p>保育園の待機児童対策に拍車がかかる中で、 学童保育の大規模化への方針決定は、「待ったなし」である。</p> <p>ア) 放課後子ども教室との連携についての協議状況および課題は イ) 緑町二丁目の旧関東総合通信局小金井宿舎を借りて、みどり学童・あかね学童の対策ができないか</p> <p><b>4. ガバメントクラウドファンディング (GCF) を使って愛着ある事業展開をしないか</b></p> <p>「ふるさと納税」に対する対応策は「小金井市行財政改革プラン2020」でも掲げられている。 寄附目的が明確なCFで且つ、寄附がふるさと納税の対象となるGCFを活用し、 小金井らしい、市民全体で事業を盛り立てる積極的な取り組みができないか。</p> <p>利用例1) 「地場野菜」で元気な子どもが育つまち! (学校給食用野菜の作付け補助、搬入補助、給食室のエアコン設置、食育出前講座支援など) 利用例2) 市制施行60周年記念「支えあいベンチ」があるまち! (参考: 国立市) (高齢者が安心してお出かけできる、寄附者のメッセージつきベンチ設置)</p>	





# 一般質問の通告について

発言順

5

平成29年 8月28日  
(西暦 2017)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

渡辺大三

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 新市庁舎の床面積を現状と同程度に据え置けば、追加の財源を投下しなくても、図書館本館を床面積を大幅に増やして建て替えることが可能になる。市長は、自らの公約に照らして、それを決断すべきではないか。</p> <p>2 大規模店舗閉店後の武蔵小金井駅北口のまちづくりについて。</p> <p>3 インバウンド(外国人観光客)対応の現状と今後について。</p> <p>4 道路等の安全性及び利便性の確保について。</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

6

平成29年 8月 28日  
(西暦 2017)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

村山ひで子

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p><b>1. 市制 60 周年記念事業の取組状況を問う</b></p> <p><b>2. 投票率アップのための施策の拡充を求める</b></p> <p>1) 期日前投票所の増加について</p> <p>2) 選挙管理委員会で取組可能な施策について</p>	

# 一般質問の通告について

発言順

7

平成29年 8月28日  
(西暦2017年)

(宛先)  
小金井市議会議員長

小金井市議会議員

(署名)

白井 亨

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
○これからの小金井市について、話をしよう	
<b>1. 若者・子どもの声をいかす市政へ</b>	
▶ いま、若者・子どもの声を吸い上げ市政に反映できるシステムは存在するのか	
▶ 若者・子どもの市民参加への目標と、その実現のための計画は	
▶ 若者・子どもの常設会議をつくり一定額の予算の使い方を提案してもらわないか	
<b>2. 効果的にシティプロモーションを行うために改善すべきこと</b>	
▶ 現状において、何が成果指標なのか。その実施根拠とは	
▶ シティプロモーションの専担課を企画財政部に設置せよ	
▶ 市のWEBサイトの所管を情報システム課から広報係へ移すべきである	
▶ 成果をあげるための戦略(計画)及び実施要項の策定について	
<b>3. 市政運営の羅針盤としての長期ビジョンを早急に策定せよ</b>	
▶ 公共施設マネジメントの各個別計画の総合調整をする上での根拠はあるか	
▶ 学区域変更/東小金井北口まちづくり事業用地/CoCoバスルート の検討は	
▶ 来年度中に皆が共有できる「めざすまちの将来像」を描くべきではないか	
▶ 小金井市ならではのアイデンティティを「言葉」に表そう	
<b>【質問意図】</b>	
庁舎と福祉会館に替わる施設が共に蛇の目跡地という市の中心部に今から4年	
8ヶ月後に完成する見込みである。市の形も大きく変わる。時代を先取りして	
将来の小金井市を形作るための取り組みを今から着手すべきではないか。市民と	
職員を巻き込み、わくわくするまちを共に作っていく仕掛けを提案したい。	



# 一般質問の通告について

発言順

8

平成29年 8月28日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

宮下 誠

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1、公共ファシリティマネジメントの戦略をたてないか</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 公共施設再編成時代を迎え、「運営」から「経営」への発想転換を</li><li>(2) 各地の先進的な取組を参考にしているかどうか</li><li>(3) 経営資源の全体最適化のため、「保有」と「使用」を切り分ける改革を</li><li>(4) 統括的マネジメントの権限をもつFM部門を創設しないか</li><li>(5) 市長はリーダーシップを発揮しないか</li></ul> <p>2、中心市街地の更なる活性化へ向けて</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 武蔵小金井駅南口の再開発第2地区に生まれる新しい広場について</li><li>(2) 第1地区のフェスティバルコートとの一体運用について</li><li>(3) 市の行事やお祭りを駅周辺へ集中させてはどうか</li><li>(4) バスの利便性や路線の更なる拡充をはからないか</li><li>(5) 武蔵小金井駅西口改札をもう1時間早く開けないか</li><li>(6) 宮地楽器ホールの文化施設としての利用の工夫を</li></ul> <p>3、市制施行60周年記念行事の提案</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 遠隔都市連携の一環で防災サミットや特産品交流</li><li>(2) 近隣市を参考にしたアールブリュット展</li><li>(3) 国立天文台や情報通信研究機構とのコラボ企画</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

9

平成29年 8月28日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 渡辺 3, 5 子

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
<p>1、今こそ小金井市の誇る歴史と文化で町おこしを</p> <p>① 小金井サクラの復活について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・川崎平右衛門没後250年の本年、市民が小金井市とサクラの歴史を学び、長く小金井サクラを継承する仕組みを作らないか</li><li>・日本におけるサクラの歴史について市民に周知し、広く市民の理解を得る努力をすべき</li><li>・小金井市がリーダーシップをとって、名勝小金井サクラの復活を</li></ul> <p>② 江戸東京野菜の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・小金井市の衣・食・住を考えた町おこしに江戸東京野菜は欠かせない。農家や飲食店と協力し、今後の取組を工夫すべき</li><li>・日本の食の歴史を学び、学校給食や食育授業に積極的に取り入れるべき</li></ul>	
<p>2、市民の健康増進について</p> <p>① 小金井市民の健康増進と健康寿命の延伸は歯の健康から。各世代における歯科検診事業の充実を図るべき</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・市立認可保育園と私立認可保育園、認可保育園と認可外保育園の歯科検診の格差是正を図るべき</li><li>・就学前歯科検診を毎年検診に拡充しないか</li><li>・現在5年ごとに行われている成人歯科検診を毎年検診に拡充しないか</li></ul> <p>② 運動人口の増加は市民の健康増進に直結する。スポーツ施設のバリアフリー化を進め、運動人口の増加を図るべき</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・トイレの洋式化等を計画的に進め、誰でも使いやすい環境整備を</li><li>・誰でも使える多目的な運動施設の整備を進めるべき</li></ul>	
<p>3、保育事業の今後について</p> <p>① 待機児童の解消と、今後の整備計画について問う</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・今後のまちづくりに合わせた保育所の整備は十分か</li><li>・待機児童解消には、私立幼稚園の延長保育を含めた、あらゆる可能性を検討すべき</li></ul>	

# 一般質問の通告について

発言順

10

平成 年 8月28日  
(西暦2017)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) たゆ久貴

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1・介護問題について  (1) 総合事業について (2) 「65歳の壁」問題について (3) 介護保険制度や要介護認定率のことなどよりよい介護への拡充について	
2・中町1丁目天神前集会所の場所に児童館の建設を求める  (1) なぜ建設ができないのか (2) 建設するために何が必要なのか	

# 一般質問の通告について

発言順

11

平成29年8月28日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

遠藤百合子

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
<b>1、特殊詐欺・空き巣を撃退していくために</b>	
小金井警察署の安心・安全情報によると平成27年では	
17件で4826万円、その内振り込め詐欺は9件で	
2761万円の被害額が出ている。	
なお、平成29年7月はゼロとのこと。	
また、空き巣は警視庁ワーストNo.1から減少傾向にあるが	
小金井警察を始めとし小金井市全体で、その対策に取り組む	
必要がある。	
(1) 現状の把握は	
(2) 振り込め詐欺撃退のための「自動通話録音機」貸与の現状	
(3) 市として「振り込め詐欺等被害防止条例」を制定しないか	
(4) 空き巣被害の現状と今後の対策は	
(5) 更なる小金井警察との連携を	
<b>2、JR中央線のホームドア設置を</b>	
(1) 現状認識と今後の見通しは	
(2) 市として設置要請をしていないか	
<b>3、健康寿命維持のために歯科衛生の更なる推進を</b>	
(1) 歯科医師会との連携を	
(2) 現状と今後の方向性は	



# 一般質問の通告について

平成 年 8月28日  
(西暦2017年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 石上 祥平

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 前市長が地方新聞への「寄稿」で指摘した、小学校給食調理の民間委託化予算の成立に際し、西岡都議(現市長)に「取引」を申し出て、予算成立に至ったとの記述に関して、西岡市長の見解を問う。	
2. 発達障がい者支援法の改正に基づく施策の充実を求める	
① 「成人期」における発達障がいがある方もしくは疑われる方への支援について	
ア. 相談窓口の整備・充実について	
イ. 切れ間のない支援をどう充実させるのか	
②ペアレントトレーニングなど保護者支援の強化について	
③ 法改正の趣旨に基づき、発達障がいの理解と啓発の促進など支援の充実を	
3. 東小金井駅北口まちづくり事業用地整備活用計画について問う	
① まちづくり事業用地に関する費用負担の状況について	
② 東小金井駅北口土地区画整理事業における、まちづくり事業用地に関する進捗状況はどうなっているのか	
③ 整備計画の促進・具体化を求める	
	以上

# 一般質問の通告について

平成 年 8 月 28 日  
(西暦 2017)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 板倉真也

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 市内の中小事業者支援策の拡充を	
(1) 木造住宅耐震助成制度の補助率・額の引き上げを	
(2) 住宅リフォーム助成制度の早期確立を	
(3) 小額等随意契約希望業者登録者への発注促進に向けた取り組みを	
(4) 工事案件の入札予定価格を事前公表から事後公表に改めよ	
(5) 複数入札であっても「辞退」札を入れて「1着入札」となった場合は入札中止にすべき	
(6) 賃金条項を含む公契約条例の早期制定を	
(7) 市内中小事業者の振興めざした条例の制定を	
2. 誰もが安心して親しめる街にするために	
(1) 野川沿いにトイレとベンチの設置を	
(2) 平代坂(小金井工業高校前を南へ下る坂)のガードレールに切れ目を多く入れるべき	

# 一般質問の通告について

発言順

14

平成29年8月28日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

河野 律子

## 発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1 新庁舎及び新福祉会館の建設について</p> <p>～ 6施設複合化から2施設の建設に。 そしてゼロベースへの変遷。現状は。 ～</p> <p>2 市制60周年を記念して、ラジオ体操全国放送の実施をしないか</p> <p>～ 健康長寿のために。 チャレンジデーを止めた今、市民に運動の必要性を訴えるチャンスに ～</p> <p>3 上水公園グラウンドの管理棟側からグラウンドに降りる階段に手摺りを設置しないか</p> <p>4 毎年、第1回定例会では、市長の施政方針とともに、教育長の教育方針を行わないか</p> <p>～ 高い評価の教育を、更に充実するために ～</p>	



# 一般質問の通告について

発言順

15

平成 年 8月28日  
(西暦 2017 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 坂井 えり子

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

	備考
<b>1 性はグラデーション。性的指向や性自認の多様性を認めあえる小金井に</b>	
【趣旨】7月6日に、LGBT自治体議員連盟が発足。各自治体での取組を進めていこうという動きが広がっています。小金井市の認識と意志を問う。	
(1) 昨年第3回定例会の一般質問で取り上げてから1年が経過。この間の研究の成果と取り組みは。(2) 今年6月、出版社が行なった「自治体のLGBT対応アンケート」結果が公表された。回答した西岡市長に、その認識と意志を問う。	
<b>2 政策決定にもっと若者の声を</b>	
【趣旨】急速に進む少子高齢社会において、少数者である若者の意志が政策に反映されづらい現状があります。愛知県新城市、若者議会の視察に行っていました。小金井でも若い世代の声を反映する制度設計が必要です。	
(1) 第四次基本構想・後期基本計画にある市民参加・市民協働。若い世代の市民参加推進の現状は。(2) 市制施行60周年に合わせた取り組みを行いませんか。	
<b>3 障がい理解を深め、差別解消の実現を</b>	
【趣旨】障害者計画で「安心して暮らしていける共生都市小金井の実現」を目指している小金井市。この間、注目している施策について伺います。	
(1) 事務局である自立生活支援課と庁内関係部署の調整に入った障がい者差別解消条例。行く末を懸念しています。(2) りんくの店閉店から1年半。真摯に取り組むと市長答弁がありましたので、進捗を伺います。(3) 改めて、声の広報(市報こがねい音訳版)、声の雑誌「こだま」の周知を。(4) 相模原の障害者殺傷事件から1年あまり。先送りになっている市長見解はいつ出るのでしょうか。	

# 一般質問の通告について

平成29年8月28日  
(西暦)

(あて先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 篠原ひろし

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
1 小金井市施設白書と公共施設マネジメント	
PPP, PFI手法の理解と導入にあたっての取組について	
2 がんばれ小金井寄付金 (ふるさと納税) 制度、クラウドファンディング等を活用した「空林荘」再建策の提案	
3 市制60周年記念「市歌」作成についての進捗状況は?	

平成29年、8月28日  
(西暦)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 紀由紀子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容	備考
1. 食育推進と農業振興のために学校給食の地場農産物導入率の向上を	
(1) 食育推進のため、小金井市が働きかけ、農家・JA・栄養士・調理師の話し合いの場を設けないか	
(2) 小平市を参考に市内の農産物の導入率に応じて学校に補助を行わないか	
(3) 小平市を参考に地場農産物の配送等に関し、JAに補助を行う制度を新設しないか	
(4) 改正生産緑地法に関連し、面積要件の緩和等の改正のための条例の制定を早急にすべき	
2. 地域包括ケアシステムの構築について	
(1) 小金井市が働きかけ、医療・介護・福祉等の諸団体の協議体を設置すべき(連携が重要である)	
(2) 認知症サポーターの方を活用しないか	
3. 再質問。小金井市として、オリジナルの婚姻届、オリジナルのウェルカムボードをのくらないか	

# 一般質問の通告について

発言順

18

平成 29年 8月 28 日  
(西暦 )

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

齋藤 康夫

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。  
記

表 題 及 び 質 問 の 具 体 的 内 容	備 考
<p>1. 財政健全化への道 (その4)</p> <p>どのような素晴らしい政策や計画であっても、財政の裏付け無しに執行することはできない。小金井市にとって財政健全化は、最優先の課題である。</p> <p>ステップ1) 都・国の支出金の現状 ステップ2) 都・国の支出金がなぜ少ないのか、その理由を問う ステップ3) 都・国の交付金・補助金をどのように活用するか</p> <p>2. 新市役所庁舎・新福祉会館の早期建設</p> <p>早期建設のために、別棟で建設することを改めて主張する</p> <p>3. 安全・安心のまちづくり (首都直下地震への備え)</p> <p>ア) 耐震診断・耐震改修補助金を増額すべきである</p> <p>1) 補助金の実態・必要性 2) 補助金が高市と比較してなぜ少ないのか 3) 補助金を増額するための方策</p> <p>イ) マンホールトイレの整備</p> <p>1) 現状の設置状況と整備計画 2) なぜ整備が進まないのか 3) 宅地開発等指導要綱を見直し、マンホールトイレを整備する</p> <p>ウ) 災害時の非常食</p> <p>1) 非常食の備蓄実態と目標 2) ローリングストックの活用と市民周知</p> <p>4. 学校給食の安全性</p> <p>食材の残留放射線のチェック体制</p> <p>1) 現状のチェック体制 2) 放射線チェックの必要性 3) 最低限整備する体制とは</p>	

2017年8月28日

(あて先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

片山 かつる

発言通告書（一般質問）

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容

1. 税の無理な徴収をしていないか。国民健康保険の都道府県単位化について  
市民相談を受ける中では、高すぎるため滞納の主原因となることが増えている。給与の差し押さえなど、厳しい取り立てのため、生活が成り立たなくなっている。国保広域化を睨んでの徴収強化が影響していないか。制度改正が来年に迫る中、小金井の体制づくりは。
  - 1) 納税相談は有効に機能しているのか。
  - 2) 無理な督促、差し押さえ、繰上げ徴収を行っていないか。
  - 3) 来年からの保険料はどうなるのか試算を出すべきである。保険料の算定は介護保険事業、健康事業、納税事業とも関連するので、小金井市としての方向性を示すべき。
  
2. 住まいの貧困をなくすための居住支援協議会または居住支援法人を  
4月に住宅セーフティネット法が改正、10月に施行される。国会の附帯決議では、被災者の住宅支援や、住宅確保要配慮者への具体的方策、家賃補助措置などが示された。7月と9月にも国交省は説明会を開く。空き家の利活用や家賃の低廉化の為にも、法改正に伴い、生活保護や生活困窮者自立支援事業とも連携し、市の体制を整えるべきではないか。
  - 1) 無料低額宿泊所と簡易宿泊所の状況と規制や指導、生活保護受給者の住宅事情は。一般的な住宅相談の窓口は。
  - 2) 居住支援協議会の設立を。法改正にある居住支援法人や登録住宅の検討は。
  - 3) 住宅施策に特化した担当課を設立すべきでは
  
3. 福島原発事故による避難者の支援について  
2017年3月で区域外避難者の住宅支援の縮小、打ち切りに伴い、特に関東近郊では住まいを失い、生活困窮に陥る避難者が増えている。自治体独自の支援が求められている。避難者の実態を把握する必要がある。小金井の状況は。避難者支援に関する、都や復興庁の通知は。





# 一般質問の通告について

発言順

22

平成29年8月28日  
(西暦2017年)

(宛先)  
小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名) 吹野やすたか

## 発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

### 記

表題及び質問の具体的内容	備考
1、小金井市内の市が管理している公園について問う。 特に公園が少ない貫井北町地域での充実を図ってはどうか。	
2、東京2020オリンピック・パラリンピック、そしてラグビーワールドカップ 2019への市の対応について問う。 機運醸成等、市としての対応の充実を図ってはどうか。	
3、小金井市の新しいまちづくりについて問う。 未来のあるべき社会像の実現を目指して「プラチナ構想ネットワーク」に 参加してはどうか。	
4、小金井市の防災について問う。 市民の「防災」に関する理解をどのように捉え対応しているか。	



2017年 8月28日

(平成29年)

(あて先)

小金井市議会議長

小金井市議会議員

(署名)

田頭祐子

発言通告書 (一般質問)

小金井市議会会議規則第60条の規定により、下記のとおり通告します。

記

表題及び質問の具体的内容

備考

## 1. 子どもの野外体験の場を増やそう

わんぱく夏祭りやプレーパークなどの活動を進めて、子どもが安心してのびのび遊べる居場所を拡げよう

(1) 乳幼児の外遊び広場を進めよう

- ・ 小さな公園でも出来る野外広場を拡げよう

(2) 放課後の外遊び環境を進めて、子どもの居場所を拡げよう

- ・ 地域の公園で出張プレーパーク

- ・ 校庭でのプレーワーク

(3) 子どもの遊び心を引き出すプレーワーカーの育成を

## 2. 子どもを化学物質の影響から守るには

(1) こどもを香害から守るには

- ・ 「香害」への認識と子どもへの影響について
- ・ 市の取組は

(2) 企業による学校での出前授業には、合成洗剤を持ち込まないで